

平成23年度第1回次世代育成支援対策地域協議会 会議録

日 時 平成23年8月20日（土）14:00～15:30
場 所 総合福祉保健センター4階研修室
出席委員 中井会長、山本副会長、西委員、福原委員、萩原委員、加郷委員
甲斐委員、末永委員、松村委員、中村委員、菊池委員、齊藤委員
村田委員、吉田委員
欠席委員 高田委員
事務局 望月健康福祉部次長（こども課長）、千葉こども支援室長
齋藤保育支援室長、鈴木子育て総合相談室長
米井主査、吉川主事
記 録 米井 幸男
資 料 別添のとおり

会 議 内 容

1 開 会 千葉こども支援室長

2 あいさつ 望月健康福祉部次長

（会長選出まで望月健康福祉部次長が仮議長で進行。）

3 委員自己紹介

4 議 題

（1）会長及び副会長選出

（次長）

選出につきましては、設置要綱第5条第1項に「地域協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める」となっております。

いかがいたしましょうか。

（委員）

会長には、前回も会長を務めた中井委員がいらっしゃいますので、医師会の中井委員を推薦します。

全員異議なく医師会顧問の中井委員が選出された。

（中井会長あいさつ）

（中井会長に議事を引き継ぐ）

(会長)

引き続きまして、副会長の推薦をお願いします。

(委員)

副会長には、社会福祉協議会副会長の山本委員を推薦します。

全員異議なく社会福祉協議会副会長の山本委員が選出された。

(山本副会長あいさつ)

(2) 会議録署名人選出

(事務局)

会議録署名人は、後日、事務局で本日の会議の記録を作成しますので、その確認の署名をお願いするものです。

従前より公務員、会長、副会長を除き、名簿の順番によりお願いしております。

(会長)

事務局の説明により、本日の会議録の署名人を決めさせていただきます。

西委員、萩原委員をお願いします。

西委員、萩原委員が選出された。

(3) 後期行動計画の取り組み内容について

(会長)

議題3の後期行動計画の取り組み内容について事務局より説明願います。

(事務局)

資料1に基づき説明する。

(会長)

ただいまの事務局の説明に、ご質問、ご意見はありませんか。

(委員)

前回の協議会でもふれましたが、実績達成度を★の数で評価しているが、ほとんどの事業で★が3つ付いている。

また、事業の実績ではなく、地域協議会で事業の内容を議論できないか。

議論することにより、問題点を各委員から提起してほしい。

(事務局)

評価方法については、各担当にお願いしているが、ご指摘のとおりほとんどの事業で★を3つ付けており、3つと2つの違いも明確ではない。

単年度の評価が必要かどうかも含めて、評価方法については検討します。

また、事業内容の議論についてですが、計画の進行管理をお願いする以上、各事業の実績報告は引き続き行っていきますが、各事業の問題点等を取りまとめ地域協議会の中で議論できればより良い方向に進んでいくと思われますので検討していきます。

(委員)

鎌ヶ谷二中のコミュニティールームでは「子育てサロン」を行っているが、何故、第二中学校での「中学生と乳幼児ふれあい体験事業」は行わないのか。

(事務局)

校長会の意向もあり、鎌ヶ谷五中から始めることになった。

(委員)

鎌ヶ谷二中の校長は行いたいと言っていた。最初は鎌ヶ谷二中で行うと思っていたので是非お願いしたい。

(委員)

中学生の保育園体験学習は全ての保育園で行っているのか。

(委員)

全ての私立保育園で行っている。

中学生が保育園にくると、先生は「学校で見せる笑顔と全然違う」と言う。

優等生と一般的に言われている悪い子だと悪い子の方が良い笑顔をする。

大切な意義のある事業だと感じる。

(委員)

全ての幼稚園で行っている。

わたなべ幼稚園でも大変だが、極力受けるようにしている。

保育園に入れなくて幼稚園に入るパターンが増えているがそういう人に対しても支援が必要であり、保育園に入れなくてこぼれた人を拾うのも幼稚園の仕事と考えている。

(4) 後期行動計画の重点施策について

(会長)

後期行動計画の重点施策について事務局より説明願います。

(事務局)

資料2に基づき説明する。

(委員)

保育ママとは何か確認したい。

(事務局)

以前は無資格でもできたが、現在は保育士の資格を持つ人、同等の経験を持つ人が保護者の自宅で子どもの保育をするのが通例だが、家族の理解を得ることや密室性など様々な問題があるため市が導入したのは、マンションの一室などを借り上げて事業者保育事業を委託するものです。

(委員)

どこかの自治体が行い、成果をあげていると聞いたが、法律で資格など縛られているのが残念です。

(事務局)

実際に死亡事故も起こっており、密室性の問題もあるので、保育者の資格が定められるようになった。

(委員)

待機児童解消のための保育ママと思うが費用など具体的に保育園とどう違うのか。

(事務局)

基本的に保育園と同じです。

時間は朝7時から夜7時までで土曜日も預かれますし給食もできます。

(委員)

休日保育についてですが、震災後は自動車会社もそうですが働き方が変わっているが要望はでていますか。

(事務局)

要望はでていない。受入れのための経費もかかることから要望が多くなってきた時点で検討を行っていききたい。

(委員)

おおぞら保育園では休日保育の要望はない。

土曜日に預ける人は少しでてきている。

(委員)

前回も意見があったと思うが、新生児に対しての情報提供のサービスをもっと厚くしてはどうか。

F a c e T o F a c e でダイレクトに対応すれば、行政サービスの目玉になると思うが。

(事務局)

「子育て・子育て応援ガイド」を出生時に市民課で配布している。

また、新生児訪問も実施しています。

(委員)

まさに私達、保健推進員の仕事です。

30人程度ですがアナログ的に活動しています。

少し心配のあるママについては保健師のカウンセリングに繋いでいる。

世間話しから悩みのお話まで幅広く聞いている。

鎌ヶ谷市は他市と比べてもやっている方だと思う。

(委員)

病後児保育についてですが、使いにくいいため利用者が少ないのか。

実際のニーズはあると思います。

資料1の22年度実績達成度では★が3つ付いているが、今後どのように進んでいくのか。

(事務局)

利用勝手が悪いという要望があります。

預ける前に医師の診断が必要であり薬の処方まで行くと半日かかるため、結局、保護者は1日休まなければならないこともある。

保護者があらかじめ申し出るにより、時間短縮できるよう検討していきます。

(委員)

病児保育はないかと質問がよくある。

熱が下がったからと言って子どもを預ける保護者がいるが、後から熱が上がり保護者へ連絡するということもあるが迎えにくるのは夕方になる。悪気があるわけではなく、仕方なくやっているとは思いますが。

(委員)

子育て支援策は必要だが、保護者を甘やかしているのではないか。

行政サービスに甘えている人がいるのは残念です。

(委員)

園の保健師の方が知らない病院より信用できるのではないか。
保護者の立場で考えれば気持ちはわかる。

(委員)

園の努力の中で病後児保育をやっているのが実情なので、この制度をうまく運用していければいいと思います。

子育てサロンとつどいの広場はそれぞれ別と考えているのか。

(事務局)

現在は行っている部署も予算も別となっているが、基本的な趣旨は同じと考えています。

今後は児童センターの中で子育て支援センターの位置づけで総合的に事業を行っていくため検討を行っています。

(委員)

つどいの広場と子育てサロンの担当課の連携はどうなるのか。

また、つどいの広場は全ての児童センターに広げないのか。

(事務局)

つどいの広場と子育てサロンの連携については、今後、一つの担当課が集約する予定です。

つどいの広場の増設については、授乳室など改修などもあるので今のところあと2箇所の増設を考えています。

5 閉 会 中井会長

以上で会議は終了した。